

# 表紙絵の解説

題名：里の秋 作者：石井 とみ子

- 1、コロジオン原紙を使い、全体を薄い黄色で刷る。
  - 2、原紙を洗浄する。黒川さんに教わったフィルムを使い、イチョウの葉のまわりをマスキングして、黄・茶で刷る。
  - 3、2、と同じ方法でドングリ全体を薄い茶で刷り、殻斗を濃い茶で刷る。
  - 4、新しいコロジオン原紙でみずならの葉。葉脈を白ペンで描いて白抜き（スッキリでなくて失敗でした）。グリーンレイ + 茶 + 黒で刷る。
  - 5、新しいコロジオン原紙で、輪郭を黒で刷る。
  - 6、新しいコロジオン原紙 2 枚で、バックを印刷
    - 1) 全体を薄い青で刷り、ところどころノリで隠して、濃い青で刷り重ねる。
    - 2) 上記の上から赤 + オレンジ + 黄色を混ぜた色で下部からぼかし刷り。
- 反省：秋色を表現したかったのですが…。

12月号の表紙絵は出丸さんです

## 11月の研究会 予定

日時：11月13日(日) 会場：初台区民会館

### ◆午前の部 (10:00 ~ 12:00)

- 1、11月表紙絵 (担当：石井)  
製作したプロセスを紹介します。

### ◆午後の部 (13:00 ~ 16:00) (担当：高橋)

#### 1、年賀状の発表

作品は、制作途中や完成作品を持ち寄って意見交換しましょう。もちろんアイデアの段階でも良いです。

#### 2、紙版画を刷りましょう

準備する物：はさみ、カッターナイフ、カッティングマット、フォーク、目打ち、ノリ、パレン。刷る下絵 (はがきサイズ) を用意してください。

\* 事前に下絵を切抜いて持参でも良いです。

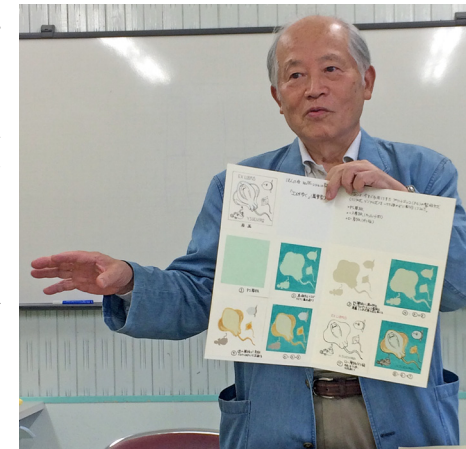
12月の講習担当は松本さんです

## 10月の研究会 報告

### ◆午前の部 (10:00 ~ 12:00)

#### 1. 10月の表紙絵解説 (末廣)

表紙絵のテーマは、永六輔さんを偲んだ蔵書票です。メインのエイは永六輔さん、小さいエイは奥さんの昌子さん。そしてマンボウは坂本九さん、提灯アンコウは野坂昭如さんだそうです。ガリ版の魚の輪郭線が刷り方向によって太くなったり細くなったりして苦労したようです。その点について田中先生から輪郭線の製版のやり方の指導がありました。末廣さんは現在 376 点の蔵書票を制作していて、東京オリンピックまでに 500 点を目標にしている。あと 124 点で達成す。がんばってください。さらに、過去に制作された蔵書票などの整理には感心させられました。



#### 2. コロジオン原紙の1版多色刷り (指導：黒川)



蜜蝋画の作品が見当たらず、その代わりにコログラフで制作した過去の作品を披露。また、シールや型紙を使った型浮き刷りはコログラフ同様に孔版と組み合わせたらどうかと、提案がありました。カッティングでは、グランド原紙 (ニス原紙) の作り方やグランドワックスの塗り方を紹介。次にテーマであるコロジオン原紙 1 版多色刷り。最初に複式製版と刷りの実演があり、続いて単式製版と刷りの手順を紹介して頂きました。特に単式製版では、孔を開けたり、塞いだり、水で洗ったりの作業に「そ~やってするのか~」と関心が感心に変わりました。作業の合間に、細筆の作り方や細線の書き方。また、溝引きの技術も紹介して頂きました。



型浮き刷り